

Rinnai

2015年度期末 決算説明

2016年5月10日

2015年度 連結決算要点

1

売上高:3199.3億円 (前期比: + 8.4%)

好調な海外販売と為替の好影響で増収。国内販売も堅調に推移

営業利益:345.9億円 (前期比: +12.4% 利益率:10.8%)

連結子会社化に伴う費用増加も増収効果と原価低減努力で増益

経常利益:358.0億円 (前期比: + 8.7% 利益率:11.2%)

為替差損発生も営業利益改善により増益

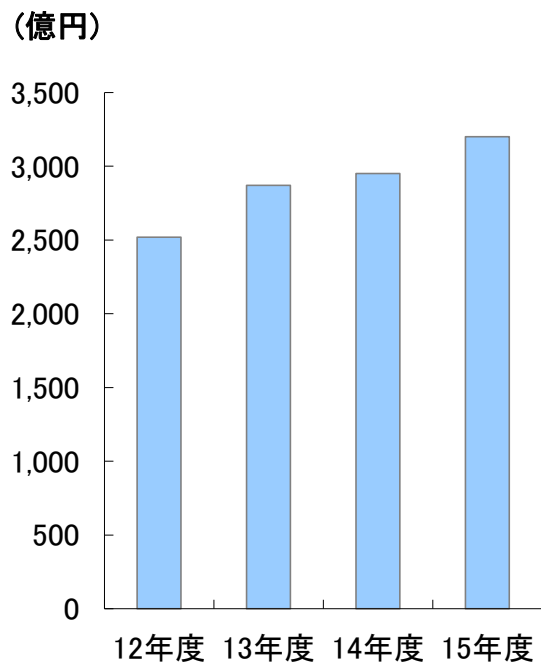
親会社株主に帰属する

当期純利益:227.1億円 (前期比: +10.0% 利益率: 7.1%)

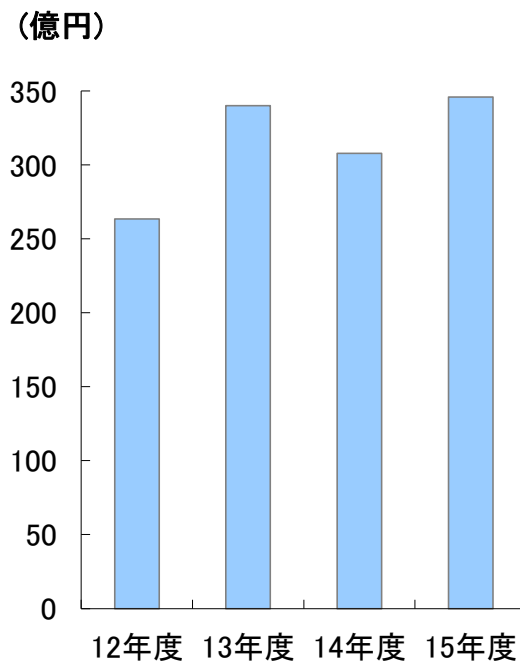
経常利益改善により増益

- ・堅調な国内に加え、海外も好調が持続。利益率も高水準を維持
- ・中期経営計画『進化と継承 2017』初年度営業利益計画を達成

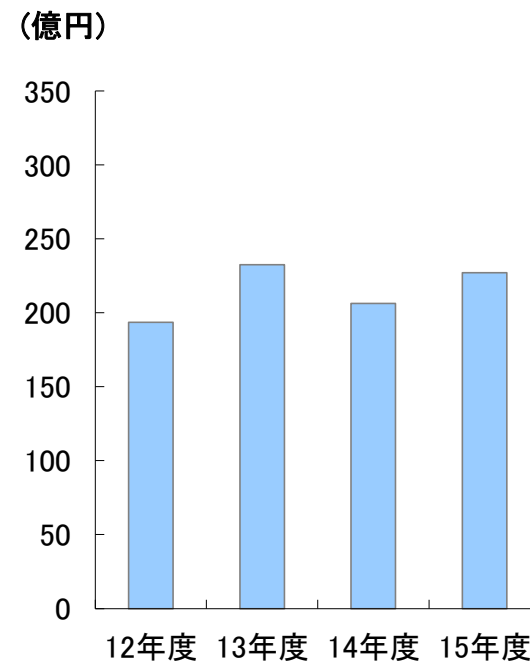
売上高



営業利益



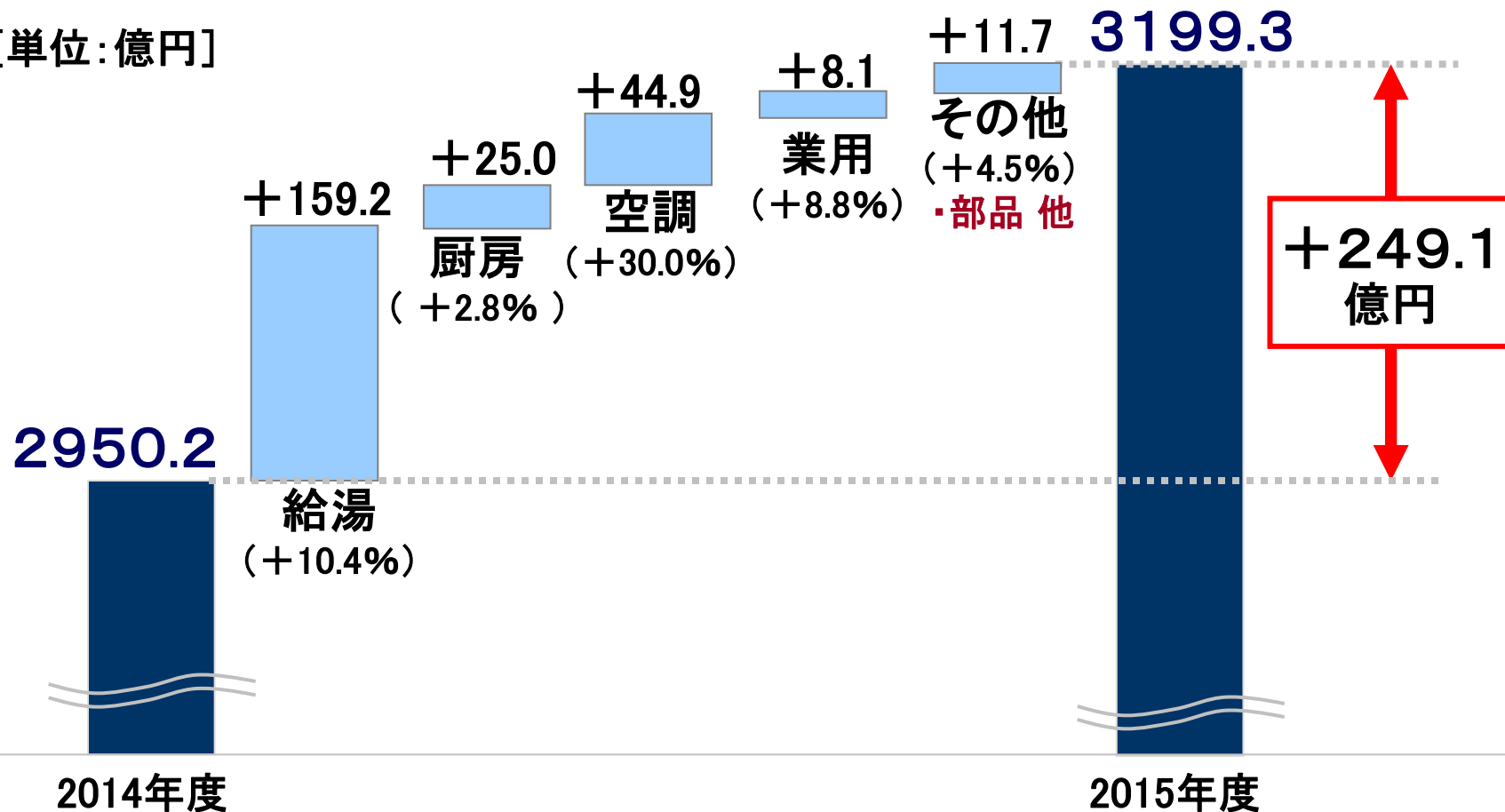
親会社株主に帰属する 当期純利益



- ・売上高、営業利益は過去最高を計上
- ・安定して実質成長を継続。増収増益基調に変化無し

2015年度 連結売上分析(商品別)

[単位:億円]



- ・給湯分野は海外主要国で販売好調。日本も給湯機器全般が堅調に推移
- ・厨房分野では国内でキッチンのシステム化が進む。海外では台湾が好調
- ・空調分野は暖冬影響で国内は低迷、オーストラリアでの伸長が増収に貢献

2015年度 連結損益実績内訳

[単位:億円]

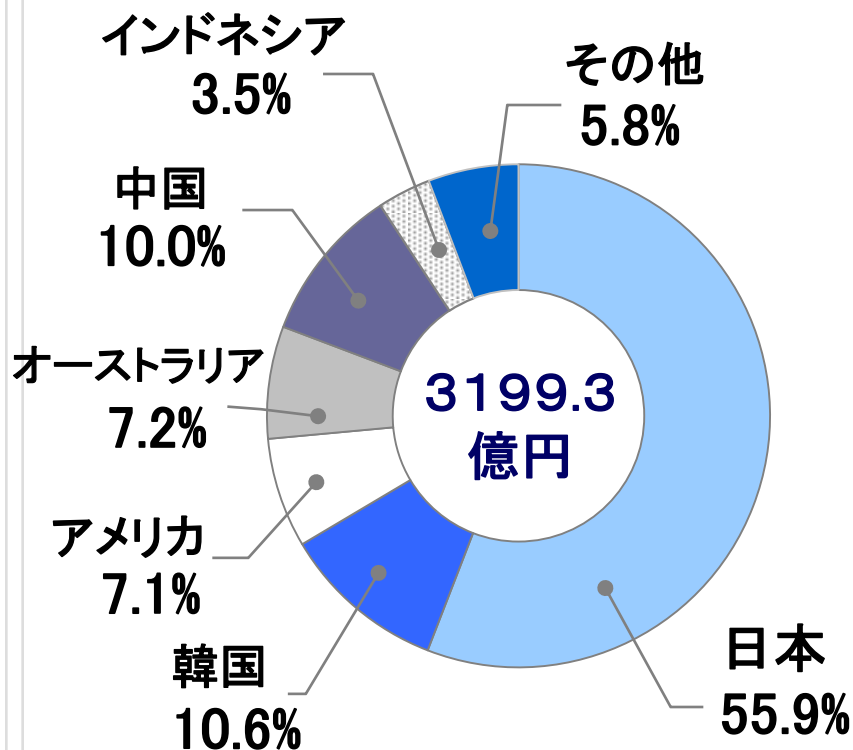
	売上高	前期比 増減率	営業利益	前期比 増減率	営業利益率	前期比 増減率
連結	3199.3	+8.4%	345.9	+12.4%	10.8%	+0.4P



	売上高	前期比 増減率	営業利益	前期比 増減率	営業利益率	前期比 増減率
リンナイ	1975.9	+3.7%	201.9	+8.1%	10.2%	+0.4P
国内関連	995.9	△0.4%	25.5	+22.3%	2.6%	+0.5P
海外関連	1499.8	+18.2%	116.3	+17.3%	7.8%	△0.1P
合計	4471.7	+7.2%	343.8	+12.0%	7.7%	+0.3P

連結売上高 セグメント(地域)別構成比

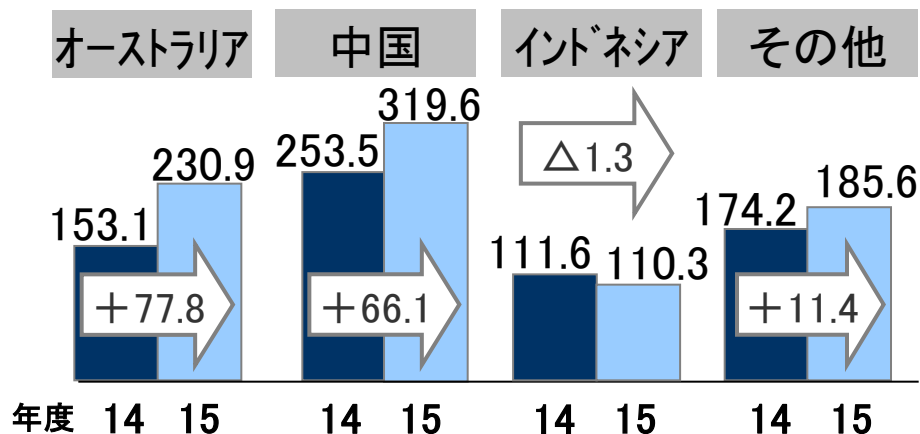
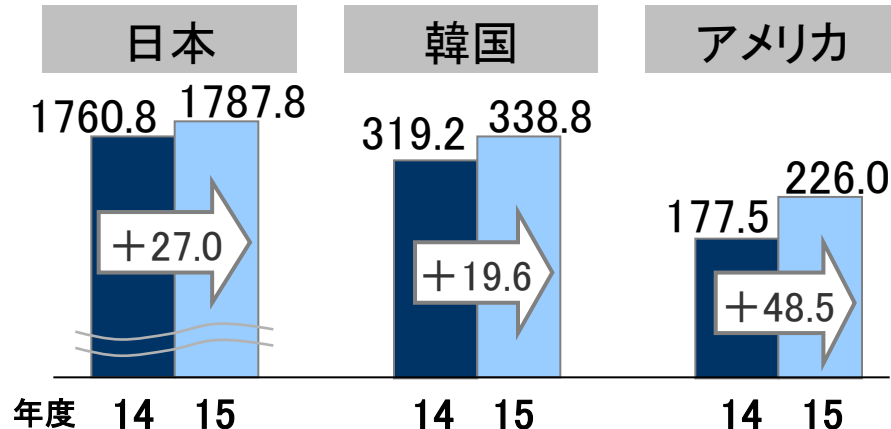
2015年度 売上高



※その他:台湾・タイ・ベトナム・ニュージーランド・ブラジル等の現地法人の事業活動を含む

セグメント(地域)別前年比較

[単位:億円]



商品別売上実績（給湯機器）

[単位:億円]	2014年度	2015年度	前期比 増減率
日本	846.3	876.0	+3.5%
韓国	139.4	155.7	+11.7%
アメリカ	156.4	201.1	+28.6%
オーストラリア	89.0	99.4	+11.7%
中国	212.6	272.6	+28.2%
その他	93.0	91.0	△2.1%
合計	1536.9	1696.2	+10.4%

商品構成比：53.0%



- ・国内は単能機、ふろ給湯器、給湯暖房機、エコワン等全般的に好調
- ・アメリカは景気回復、中国では生活水準向上に伴い現地販売好調
- ・オーストラリアでは、主力のタンクレス給湯器に加え貯湯式給湯器も伸長

商品別売上実績（厨房機器）

商品構成比：29.2%

[単位:億円]	2014年度	2015年度	前期比 増減率
日本	631.9	637.0	+0.8%
韓国	93.0	96.5	+3.7%
中国	33.8	40.6	+20.1%
インドネシア	103.8	101.1	△2.6%
その他	45.6	58.0	+27.2%
合計	908.3	933.4	+2.8%



日本



韓国



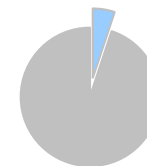
インドネシア

- ・国内はテーブルコンロの需要減少もビルトインコンロ販売好調でカバー
- ・韓国ではコンロの需要減少に歯止めがかかり、持ち直し傾向で売上増加
- ・インドネシアではテーブルコンロの普及が一巡し、売上が伸び悩む

商品別売上実績（空調機器）

[単位:億円]	2014年度	2015年度	前期比 増減率
日本	81.4	71.1	△12.6%
韓国	2.3	1.7	△24.8%
アメリカ	18.1	20.8	+15.0%
オーストラリア	40.2	92.8	+130.6%
その他	7.4	7.9	+7.0%
合計	149.7	194.6	+30.0%

商品構成比：6.1%



日本

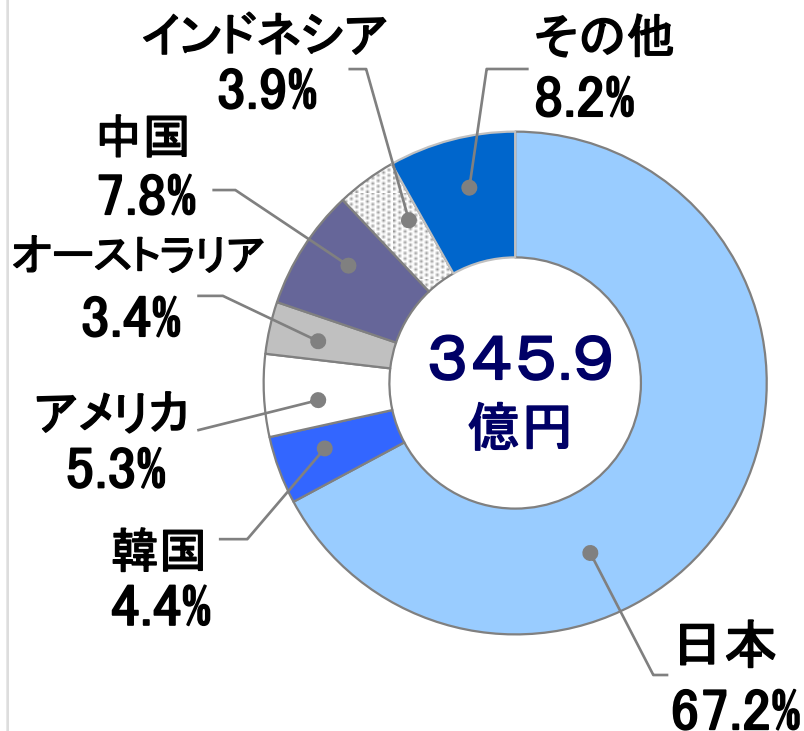


オーストラリア

- ・オーストラリアは暖房機の回復とBrivis社買収による業容拡大で大幅増
- ・日本では暖冬影響により主力商品であるファンヒータの販売台数が減少

連結営業利益 セグメント(地域)別構成比

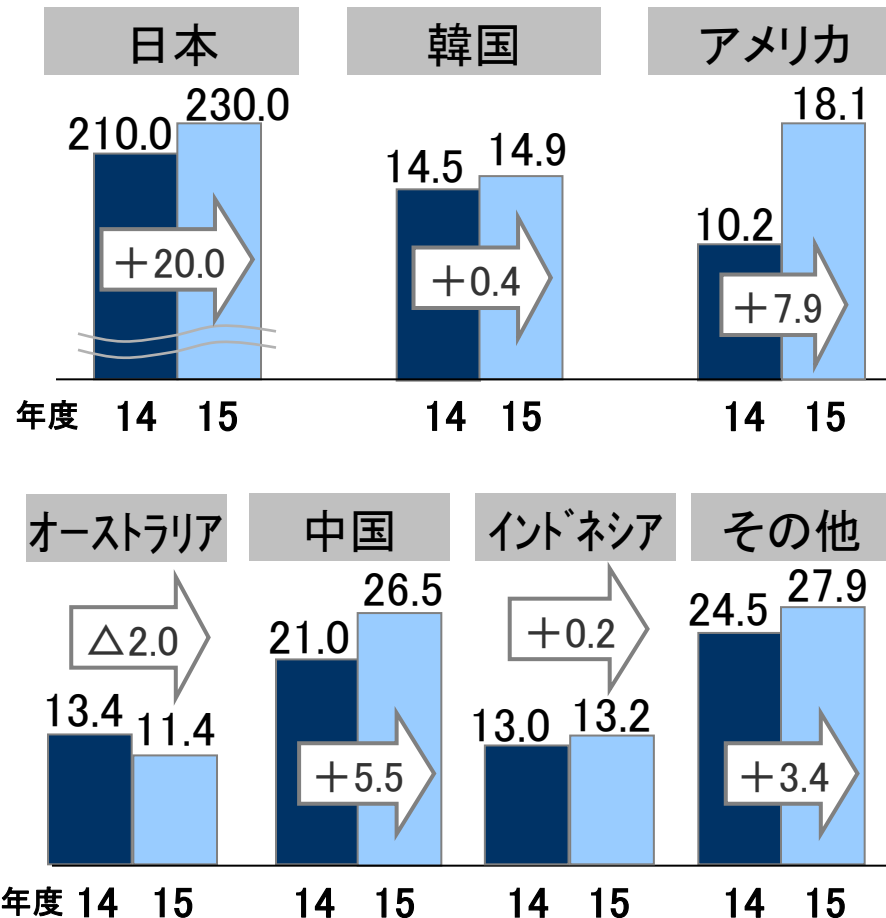
2015年度 営業利益



※その他:台湾・タイ・ベトナム・ニュージーランド・ブラジル等の現地法人の事業活動を含む

セグメント(地域)別前年比較

[単位:億円]



電気銅の動向

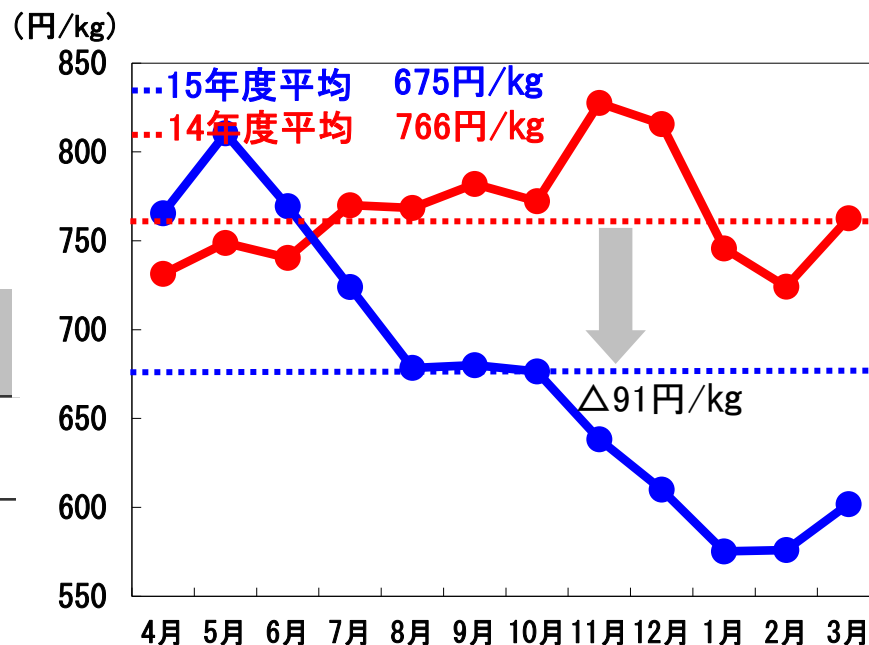
・銅相場は下落傾向

7月より前年単価を下回り推移

(年初想定:800円/kg)

(円/kg)	14年度 平均	15年度 平均	前期比 増減率
平均単価	766	675	△11.8%

※使用箇所:給湯器(熱交換器等)

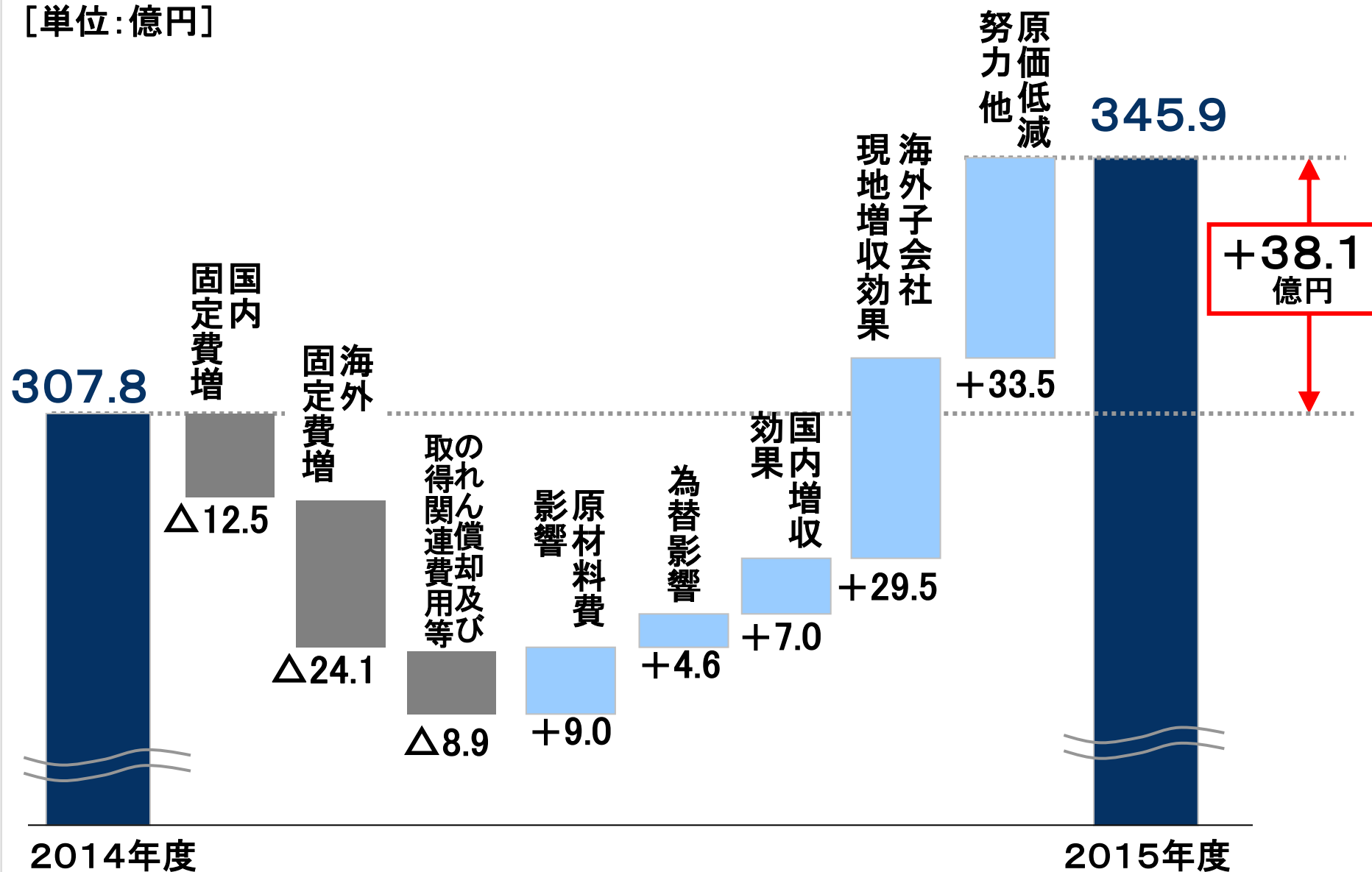


鉄鋼の動向

・鉄鋼材料は一部を除き昨年より低い水準で推移

2015年度 連結営業利益分析

[単位:億円]



熱と暮らしを創造する Rinnai

本資料に掲載されております業績予想や将来予想は、現時点において入手可能な情報に基づき当社が判断して予想したものであり、実際の業績は今後様々な要因の変化により予想とは異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。